

報告書抄録

ふりがな	もりおかじょうとおくるわあと -だい22・23じようき かいしゃじむしょおよびじんけんせつにともなうきんきゆうほくつじようきほうこくしょ-							
書名	盛岡城遠曲輪跡 - 第22・23次調査 会社事務所建設及び寺院建設に伴う緊急発掘調査報告書 -							
副書名								
編著者名	津嶋知弘・鈴木俊輝・佐々木あゆみ							
編集機関	盛岡市遺跡の学び館 (刊行：盛岡市教育委員会・株式会社駒木葬祭・宗教法人連正寺)							
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1 電話 019-635-6600							
発行年月日	2022年12月15日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名 (略号)	所在地	市町村	遺跡番号	(世界測地系)			(㎡)	
もりおかじょうとおくるわあと 盛岡城遠曲輪跡 (MMT)	いわてけんもりおかし みなみおどおり 岩手県盛岡市 南大通 2ちょうめ 二丁目 378-1、379-8、379-9	03201	LE06-2389	39° 41' 41.0"	141° 9' 22.0"	22次:2021.6.15 -2021.6.29	135	会社事務所建設
	いわてけんもりおかし みなみおどおり 岩手県盛岡市南大通 2ちょうめ 二丁目 378-4、379-1	03201	LE06-2389	39° 41' 40.5"	141° 9' 21.5"	23次:2021.7.19 -2021.8.3	55	寺院建設
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
盛岡城遠曲輪跡 第22・23次調査	城郭	縄文時代				縄文土器		
		古代		竪穴建物跡1		土師器、須恵器、あかやき土器、 土製品、石製品、鉄製品		
		中世				輸入陶磁器		
		近世		堀跡、土塁線、石垣		陶磁器、古銭、鉄製品		
		近代		礎石列		陶磁器、古銭、鉄製品、ガラス瓶		
要約	江戸時代を通じて盛岡藩主であった南部氏は、慶長2年(1597)から居城として総石垣の盛岡城の築城を開始し、その北側に重臣屋敷の並ぶ外曲輪を配して堀で囲んだ。そのさらに外側に堀と土塁を廻らせたのが遠曲輪で、東西約1.2km・南北約1.5kmにわたる長大な遺跡である。本書掲載の第22・23次調査区は遺跡の南東部に位置し、遠曲輪南東辺が南辺に屈曲する箇所にあたり、城郭期である近世の堀跡と土塁下部の石垣を確認した。石垣の石材には矢穴のある花崗岩の割石が一部用いられ、谷積み(落し積み)となっており、火災痕跡がみられた。また、土塁線下に古代の大型竪穴建物跡を確認し、当該箇所周辺に古代の集落が展開していたことを示している。							

盛岡城遠曲輪跡

- 第22・23次調査 会社事務所建設・寺院建設に伴う緊急発掘調査報告書 -

令和4年12月15日

編集 盛岡市遺跡の学び館

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13-1

電話 019-635-6600 FAX 019-635-6605

E-mail iseki@city.morioka.iwate.jp

URL <https://www.city.morioka.iwate.jp/>

遺跡の学び館

検索

発行 盛岡市教育委員会・株式会社駒木葬祭・宗教法人連正寺

印刷 株式会社富士屋印刷所

〒020-0841 岩手県盛岡市羽場13地割30番地10